

会議結果

次の附属機関等の会議を下記のとおり開催した。

附属機関等の名称	平成28年度第1回みよし市地区拠点施設整備協議会		
開催日時	平成28年7月8日(金) 午前10時から午前11時45分まで		
開催場所	みよし市役所 3階 301会議室		
出席者	(委員) 加藤武志(委員長)、原口百合子(副委員長)、 鈴木和秋、小野田恵一、木戸雅俊、田仲真由美、寺村和子、 岡本幸子、長山恭子、谷端浩明、富樫佐智子 (事務局) 柴田市民協働部長、加藤市民協働専門監、村田協働推進課長、 森永協働推進課副主幹、水野協働推進課副主幹、藤田協働推進課主査、 成瀬都市計画課主事、(株)松浦建築事務所3名 (計21名) 傍聴者 0名 欠席者 0名		
次回開催予定日	平成28年10月下旬		
問合せ先	協働推進課 担当者名 森永 電話 0561-32-8025 ファクシミリ 0561-76-5702 メール kyodo@city.aichi-miyoshi.lg.jp		
下欄に掲載するもの	・議事録全文 ・議事録要約	要約した理由	—
審議経過	<内容> 1 あいさつ 2 副委員長の選出 <議題> 1 みよし市地区拠点施設整備事業の全体計画の確認について 2 3地区拠点施設の基本計画について 3 きたよし地区拠点施設の基本設計スケジュールについて 4 きたよし地区拠点施設に必要とする機能について 5 きたよし地区拠点を考える「市民ワークショップ」について 6 きたよし地区拠点施設建設期間中の地域活動場所について		

会議録 開会	加藤専門監	定刻となりましたので、ただいまから、「みよし市地区拠点施設整備協議会」をはじめさせていただきます。 最初に礼の交換を行います。 皆様、ご起立ください。 【一同礼】 ご着席ください。 本日の会議ですが、みよし市付属機関設置及び運営に関する要綱で第6条に基づきまして、会議は全部の公開といたしますので、あらかじめご了承ください。ちなみに傍聴者は、今日はお見えではありません。委嘱をいたしました各委員につきましては、あらかじめ委嘱状を机の上に置いて頂いております。委員の皆様にはお世話になります、宜しくお願い致します。では、ここで市民協働部部長の柴田よりご挨拶を申し上げます。
あいさつ	柴田部長	本日は、平成28年度みよし市地区拠点施設整備協議会の開催において、委員の皆様にはお忙しい中、ご出席いただき誠にありがとうございます。この地区拠点施設整備協議会は、自治の主役である市民の主体的な街づくりの推進を支援するため、みよし市を「きたよし地区」「なかよし地区」「みなよし地区」の3地区に分け、各地区に必要な施設について協議検討を目的に昨年度から協議会の開催をお願いして、昨年度の基本構想作成にご尽力いただきました。また、区長の交替により今年度から就任いただきます4名の委員様には宜しくお願い致します。本年度は、基本構想に基づき3地区の拠点施設の基本計画策定ときたよし地区拠点施設の基本設計の策定を予定しています。特に「きたよし地区拠点施設整備」につきましては「ワークショップ」を開催し、市民や利用者の皆様の意見を取り入れた中で進め、地域の皆様がより主体となつての良い施設となる様、整備してまいりたいと考えています。詳細については会議の中で説明させていただきますが、委員それぞれのご立場での貴重なご意見を頂きますことをお願い申し上げまして、簡単ですが挨拶とさせていただきます。
自己紹介	加藤専門監 加藤専門監 加藤専門監	本年度、本日が初めての会議となりますので、交替された委員も見えることから、各委員様より自己紹介を頂きたいと思ひます。会議資料の1頁に委員の名簿がございます。名簿により一番上の加藤委員長から宜しくお願いします。 《委員 自己紹介》 ありがとうございました。ここで事務局の自己紹介を行います。 《事務局及び設計委託受注者 自己紹介》 それでは、みよし市地区拠点施設整備計画要綱について、説明をさせていただきます。資料の1頁にありますが、みよし市地区拠点整備協議会の設置要綱第3条第2項に「委員の任期は委嘱の日から平成

副委員長 の選出	加藤専門監	29年3月31日までとする」となっており、「ただし、委員が欠けた場合における補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする」としてあります。また、第4条では委員長及び副委員長について「協議会に委員長及び副委員長1人を置き、委員の互選により選任する」と規定しております。以上、みよし市地区拠点施設整備協議会設置要綱の説明といたします。 それでは、次第の2の副委員長の選出に入りたいと思います。協議会設置要綱第4条の規定によって、副委員長は委員の互選によりありますが、こちらで事務局案を提出させていただきたいと思います。昨年度、副委員長には三好丘行政区の区長にお願いしておりました。引き続き今年度についても三好丘区長であります、原口様をお願いしたいと存じますが、如何でしょうか？原口委員を副委員長にすることについて賛成の方は挙手を願います。 《全員賛成》 全員賛成で原口さんには副委員長に就任していただきます。では、席を移動していただき、原口副委員長から一言ご挨拶を頂戴したいと存じます。
	原口委員	ただ今、副委員長に指名されました原口です。何分不慣れではございますが、皆様のご協力のもと、つつがなく努めてまいりたいと思いますので宜しくお願いします。
	加藤専門監	ありがとうございます。それでは、次第に沿って進めてまいります。ここからの進行につきましては、本要綱の第5条の規定にあります「委員長がその会議の議長」となりますので、加藤委員長にお願いしたいと思います。よろしくお願いします。
	加藤委員長	今日の議題を見て頂くと(1)から(6)まで多くの議題がありまして、ひとつひとつ審議していくと時間がかかることと、(1)と(2)で言いますと「全体計画の確認」が共通事項ということなので、(2)を中心にお話ししたいと思います。そのため、(1)と(2)を合わせて事務局に説明いただいて、2つセットで(1)と(2)、(3)と(4)、(5)と(6)というかたちで3つのグループに分けて今日は議事進行したいと思います。それでは早速、議題の(1)みよし市地区拠点施設整備事業の全体計画の確認と(2)3地区拠点施設の基本計画について、あわせて事務局から説明をお願いします。
議題(1) 及び(2)	事務局	資料の2頁で、「みよし市地区拠点施設整備事業について」になります。これは前年度のこの協議会でまとまりました「拠点施設基本構想」について答申いただきました。本日の会議として事前に資料送付させてもらっています。その「基本構想」に沿って庁舎内はもとより議会の全員協議会において説明した資料が、この2頁の資料です。この資料が庁舎内議員等関係者の共通認識の基本となっています。この資料に基づいて、新しい委員もみえますので、確認させていただきます。

		まず、[1 背景・課題]については、公共施設の機能、規模の格差があるということです。それを是正するためにどうするか。旧来の集落では、集会所として公民館や児童館があり、老人憩の家がある、という地域が多い。公共施設も中心部から南の方に多い。それをシーソーでやると南の方が重くて北が少し軽い。アンバランスになっていることが、ここに表記されています。そのため、地区間の施設の均衡を図りたい、公平な市民活動を推進したいというところから、地区拠点施設の整備方針を進めてきたところです。総合計画で地区毎ということで表現されている「きたよし」「なかよし」「みなよし」に地区拠点施設の整備を組込んでおります。その中で3番の最初の四角枠の中に「きたよし地区は人口規模に基づき将来的にもう1箇所を整備」と記載しております。これについては、「次期総合計画」で検討する内容になっているということです。基本的に「次期総合計画」でもう1箇所ということがコンセンサスを得て、組入れられれば、4箇所目を検討していくことになります。「きたよし地区」については、三好丘交流センターの新築で、「なかよし地区」については学習交流センター、今は名前が変わって市民活動センターとなっていますが、そこの改築利用、「みなよし地区」については明越会館の新築、もう1箇所について場所は触れておりません。右側の[4 整備する諸室]、整備する内容については、利用内容に踏込んで記載されています。[5 整備スケジュール]については、「きたよし」を最初に整備し、次に平成32年度以降に「みなよし地区」、「なかよし地区」といった拠点施設の整備工事の順番を示しています。施設機能が少なく、また、周辺に類似施設が無いところを優先したということです。次が「みなよし地区」、類似施設が周辺に多い「なかよし地区」については既設施設を改築して有効利用するため、最後としています。どちらにしても整備に必要な事業費、それから財政状況と基金の積み立て、積み増しなどがどれくらいできるか、総合計画や実施計画の段階を踏みながら進んでいくことになります。[6 整備資金]のところでは、基金を計画的に積んでいます、目標は8億円です。現在5億円積んであります。なお、「基本構想」については、ホームページ上にも公開しており、ご覧になって頂けるようになっていますので、いろいろな機会にPRしていただけたら有難いです。 続きまして、3頁です。この3頁、4頁が協議していただきたい内容です。3地区拠点施設の基本計画についての説明になります。今年度は3地区の拠点施設の基本計画を作ります。それと並行して「きたよし地区」の拠点施設の基本設計にも入ります。3拠点の基本計画と「きたよし地区」の拠点施設の基本設計と実施設計については、一緒に進めていくため45,900千円で(株)松浦建築事務所と今年度と来年度に亘る2年間の継続費で契約しています。こうした会議等にも出席して頂いて、意見を吸い上げ、計画や設計に反映させていきたいということで参加してもらっています。「きたよし地区」の拠点施設、三好丘に造る拠点施設については、今年度中に基本設計まで行います。来年度に実施設計、詳細設計、工事を発注するための設計に入ります。3地区の整備方針と地区ごとの整備方針は、昨年度の整備基本構想に沿う形で進めていきますが、特に今年基本設計に入る「きたよし地区」については、きたよし地域の意
--	--	--

		見集約を行わなければならないと考えていますので、その内容をさらに反映させていきます。「きたよし地区」についてはその様に進めていくということと3地区の基本計画を進めてまいります。特に3ページですが、[1 3地区拠点施設の整備方針]については、ここに記載のあるとおり、この考えで進め、[2 地区拠点施設整備順位]については「きたよし地区」「みなよし地区」「なかよし地区」の順番に整備していくということです。頁右に図を入れましたが、「きたよし地区」は既存現施設がありますが、その周りを囲む様な大きさで、少しL字形の建物の形が置いてあります。全くの構想で、後で説明しますが、このような配置で今は考えています。「なかよし地区」も同じですが、これは旧学習交流センターの利用になります。4頁に「みなよし地区」の配置計画を載せています。駐車場と書いてある、2か所有りますが、上側の駐車場が今の明越会館。敷地の広さを利用して、南側に施設を造り、北側を駐車場とする大まかな考え方です。端的に言いますと「きたよし地区」は同じ敷地に新たに新築整備。「なかよし地区」は既存施設の有効利用、活用。「みなよし地区」は同じ敷地に新たに新築。「きたよし」と「みなよし」の差は同じ新築でも現在の施設を利用しながら完成後移転できるのが「みなよし」、出来ないのが「きたよし」です。構成については次のところですが、4頁の下段になります。[4 各地区拠点施設に共通して必要な部屋]ということではあります。この記載の中に表記されて無いものが少しあり、具体的には「音楽・防音の効いた部屋」をどう考えるか。それから、「調理室」の考え方、高齢者の視点というのが大きなポイントになると思います。地域の意見等をきたよし地区内の区長さんを回って聞いていると、この辺りが重要なポイントになると思います。基本計画にどう組み入れるのか。その点は「きたよし地区」の施設の基本設計に向けた協議をこの後行いますので、そこで議論していただきたいと思います。そこでの議論の内容は基本計画に反映していかなければならないですし、同時進行ですのでその旨ご承知おきください。以上、3、4頁の3地区の基本計画に関する説明とさせていただきます
	加藤委員長	ありがとうございました。議題の(1)については報告ということなので、資料2頁の部分というのは市役所のなかでも、議会でも説明した資料ということで、どんな感じなのか皆さん大体はお解りと思います。それをもう少し詳しく、3地区についてどういう考え方でこの拠点施設を整備していくのかをまとめたのが、3頁目、4頁目になっていて、特に4頁目の下の段に、どの拠点にも共通して「こういった機能が必要だろう」というのがまとめてある。今日は、今年度初めてということでもありますし、こういった委員会で意見が出ないことがよくあるので、アイドリングを兼ねて、今の事務局の説明を聞いてどのように感じたか、もう少し聞いてみたいとか、ここが疑問だったとかをお近くの人とお話をしていただきたいと思います。富樫委員と長山委員、鈴木委員と小野田委員、木戸委員と田仲委員で、向き合っていて、今の3頁目、4頁目が主眼となると思うので、5分ほどこの議題に沿って、話し合っていたきたいと思います。

		***** 5分経過 *****
	加藤委員長	では、いろいろなお話しをしていただいたと思いますが、鈴木委員と小野田委員、二人は今年から委員ということですが、どんな話をしていただいたのか、紹介していただきたいと思います。
	小野田委員	1頁と2頁の確認ですが、2頁の3の二つ目のところ、「きたよし地区は、人口規模に基づき、将来的にもう1箇所を整備」と書いてありますが、総合計画の見直しのなかで、4地区という考えは、市はないのですか。
	事務局	4地区という考えになれば、これにリンクします。
	小野田委員	すでに見直しの動きに移っているのではないのでしょうか。
	事務局	少しずつ動き出しています。
	小野田委員	ただ、先回の総合計画の時は、あおばの方が、三好丘ということにこだわってみえて、「きたよし」を二つに割ることを反対されたということで、3地区となりました。人口等を見ても「きたよし地区」はダントツに多い。そのため市は仕掛けていくべきではないのか。基本構想の3頁には「きたよし地区」が31,214人。三好丘あおばから三好丘桜までが18,954人です。「きたよし地区」の福谷と黒笹は人口が増えてくる要素があります。三好丘地区はあまり増えていけないことを考えると、今回の総合計画の中で見直すべきなのではないかと思いました。それと資料3頁の「きたよし地区」の施設は、2階建てのイメージに見えますが、メグリアから見た壁の上に、2階建てを造る考えなのか。1階部分を削り施設の駐車場に入ると、平屋に見える建物も一つの考えかなと。
	加藤委員長	その2点について、事務局からお願いします。
	事務局	総合計画の4地区目という話について、人口規模からも市が仕掛けていくべきとの意見については、報告させていただきます。レベルの高い話ではあります。人口のフレームとして、そういう地域を考えていくことになるのかと。また、建物の基本計画については、基本設計に向かう部分で説明をさせていただきます。
	加藤委員長	分かりました。次に、木戸委員と田仲委員のお二人でお話しされたと思いますが、田仲委員からどんなお話をされたかお願いします。
	田仲委員	設計のことになるかと思いますが、私も「本当に平屋なのかな」と疑問を持ちました。あと、施設が充実して機能が広がると利用者は増えると思いますが、三好丘交流センターは敷地も限られているので、駐車場がどうなるのか心配です。今でも結構一杯になることがあるので、施設の中の機能も重要ですが、利用者の立場からすると、駐車場の問題が大きいのではないかと思います。

加藤委員長	そうですね。３頁目の上の図で見ると、現施設のＬ字のところ、かぶっているＬ字のところは北面が法面になっており、南面が駐車場になっていますが、そこで足りるのか。これから拵げていくと不足するのではないか、といった心配があるということですね。木戸委員から、何かご質問はありませんか。
木戸委員	今、田仲委員が言われたとおりで、駐車場が一番懸念される問題だと思います。
加藤委員長	ありがとうございます。では、こちら側のテーブルで谷端委員からお願いします。
谷端委員	「きたよし地区」で言えば、猿投・境川断層が通っています。この図面にある北側斜面ですが、これは急傾斜法に基づいて造られているのか、聞きたいです。計画建物は、もっと南側に設置した方がよいのではないかと思います。断層が有るということは、地震が起きる可能性があるということになります。日本列島は地震、火山の活動期に入っているのです、その辺りも踏まえて、もう少し場所を変えた方がよいのではないかと思います。また、みよし市の防災地図、ハザードマップによると、この斜面のところは危険地域になっており、その辺はどのように考えているのか。
加藤委員長	ありがとうございます。富樫委員から何か補足がありましたらお願いします。
富樫委員	はい、谷端委員が「きたよし地区」の話をされましたが、私は、「みなよし地区」、４頁上の地図で現施設に駐車場を設置し、現施設の南側に建物が建つという説明と思いましたが、よろしかったですか。
事務局	はい。
富樫委員	あと、谷端委員は明越会館の調理室をよく使っており、大変暗いとの意見でした。建替える建物は、明るく、使い易い、バリアフリーな建物として欲しい。
加藤委員長	ありがとうございます。なお、谷端委員から断層が通っていることや斜面の部分が危険な場所に当るのではないかと。それが急傾斜法に照らし合わせて問題がないのか、というご指摘がありました。「きたよし地区」に関しては、後程、少し時間を取ります。また、調理室を明るく、使い易く、バリアフリーというご意見は、３施設共通ということで伺いました。それでは長山委員からお願いします。
長山委員	「なかよし地区」において、市民活動センター、学習交流センターから市民活動センターに名称変更されましたが、これは市内初めてのことで、私たちとしてもとても喜ばしいことですが、５年後、１０年後に市民活動センターと拠点施設がどのような関係になっていくのか、心配であり不安だったりします。

	加藤委員長	機能の分担や棲み分けですね。岡本委員から何か補足することはありますか。大丈夫ですか。
	岡本委員	はい。
	加藤委員長	「なかよし地区」の場合は、7月から代わった市民活動センターと今度の拠点施設と、長期的に見たときに、どういう棲み分けになり、機能分担していくのかが気になるということです。これについて、直ぐにお答えできますか。
	事務局	地域活動の拠点と市民活動の拠点というのは、同じ部分と交ざり合う部分があると思いますが、そこをきちんと決めるよりも、大まかに決めた方が重なる部分が多くなる気がします。例えば、今度のきたよし地区の拠点に、長山さんたちがいろいろな形でシンクロしていくことも、方法としてあるかと思います。
	長山委員	今、拠点施設として「きたよし地区」にできる、「みなよし地区」にできる。それを飛び越して、皆さんが活動できるというネットワーク。そんな話をしていましたので、それで繋がるかと思います。
	事務局	施設の枠を超えて、エリアを超えてということですね。
	加藤委員長	今、事務局が上手に説明されましたが、ローカルな活動というか地域の活動とテーマ型の活動が上手く手を結んでいける、きっかけになると良いと思います。 それでは原口委員からお願いします。
	原口委員	最初に整備することになっている三好丘交流センターですが、「きたよし地区」でも福谷や黒笹には公民館などがありますが、特に三好丘地区には公民館も児童館もなく、本当に狭い集会所があるだけなので、交流センターには造って欲しい施設が満載です。今度、ワークショップがあり、中学生も参加しますが、中学生もこういうことをしてほしいという意見が沢山あり、どの位ワークショップで出た意見を取り上げていただけるかが、心配です。本当に造って頂きたい施設が満載なもので、よろしくお願いします。
	加藤委員長	これも「きたよし地区」の話なので、あとで時間をつくり、それから、ワークショップについても5、6で出てきますので合わせて議題にしたいと思います。寺村委員からお願いします。
	寺村委員	先ほど長山委員が言われました「なかよし地区」の市民活動センターで私が関わっているものがあります。施設を使っているのが水曜日と土曜日で、日本語サークルの活動で利用しており、その立場がどうなるのか不安です。今は、空いた部屋で活動していますが、この話が進んだ時に追い出されないかと思います。
	事務局	本来、社会保障の中では、市がやるべきことを担ってもらっていますので、それを「出てってください」とは絶対に言いません。た

議題(3)及び(4)		だし、工夫はしていかなないと、エリアの話ですので、時間的にシェアするのか、場所をシェアするのか、そういう方法を組み込んでいけば、クリアできると思っています。
	加藤委員長	それでは、議題(1)、(2)で3地区を整備していく順番や新築なのか改築なのかという説明がありましたが、基本的には承認ということによろしいでしょうか。ただし、建てる位置や先程の地震の心配、駐車場をどうするというのは次に繋がる話ということによろしいでしょうか。
	小野田委員	一点確認したいのですが、トイレの問題ですが、4頁の表で各地区拠点に共通して必要な部屋ということで、トイレは各階に1か所となっていますが、「きたよし地区」のところには、2か所となっているということは、2階建てにするのですか。
	加藤委員長	そうですね。その部分について、後半でもう一度、詳しい話が多分出てくるので、そこで話し合しましょう。その前までの基本計画までについて、よろしいでしょうか。 〈異議なし〉
	加藤委員長	ありがとうございます。次に議題(3)「地区拠点施設(きたよしの)基本設計スケジュール」と議題(4)の「きたよし地区拠点施設に必要とする機能」について事務局から説明をお願いします。
	事務局	5頁です。まず、今年の「きたよし地区」だけの拠点施設整備のスケジュールです。特にワークショップの開催などを含め、地域の区長さん等に事務局としてアクションを起こしており、同時進行となっていることをご理解ください。まず一番上の段で、基本設計と実施設計については、松浦建築事務所と2年間の継続契約をしています。基本方針と枠で囲んだ部分がぶれていると、先に進めませんので、ここのところを特に確認したいと思います。1番目ですが、「三好丘交流センターを解体撤去し、有効な敷地利用ができるよう現施設の場所に配置」するということです。これは、敷地の北側に建物を配置して、日当たりを確保すること、南側にスペースを確保できるのが第一の利点です。もうひとつ、敷地北側ががけ地、傾斜地で、北側は解放されているため北側の採光も望めます。東側道路に寄せて配置することで、敷地の出入り口からの歩行者の動線が短くでき、既存の西側アプローチも利用できる。何よりもの利点は、現施設の位置に配置することで、周囲の民家から最も離れた位置に配置できます。2番目が、先程トイレの話から平屋なのか、という話がありましたが、基本的には、バリアフリーに有効な平屋建てで考えていきます。これから先のワークショップや皆さんの意見を聞く中で、いろいろな機能を加えていった時に、どうしても平屋では駐車場などが確保できなくなるといった場合には、2階に積んでいくという考えでいます。3番目についてですが、「機能配置については、行政として必要な機能を確認したうえで、きたよし地区ワー

		クシヨップなどの意見を反映」ということです。以上、3点については計画推進の肝となりますので、委員の皆さんのご理解を頂きたいと思います。 あと、中段に庁内調整会議とこの協議会の欄がありますが、これについては、今、庁内会議等を経て、この資料などを提出しています。庁内会議を経て、この協議会、協議会の意見を庁内会議で揉んで返すことを繰り返して行っていく日程が中2段です。 一番下のワークショップの段ですが、4月以降準備を進めてきています。ワークショップの目的、運営、参加メンバーが書いてありますが、第1回が8/7(日)、第2回が9/4(日)、それぞれ三好丘交流センターで開催予定です。ワークショップの目的ですが、多くの方に参加していただいて、意見を吸い上げたいと考えております。ワークショップの運営については、中間支援の活動をしているあいちNPO市民ネットワークセンターにお願いして、市役所側と地域の皆さんとの間で意見調整をしていただきながら、意見の吸い上げをしていきたい。ただ、その時には、この先の基本計画をある程度説明しないと議論にもならないため、基本計画を説明しつつ、それに皆さんの意見を反映したい、という形で進めていきたいと考えています。現在、行政区の区長さんに参加のお願いをしています。また、それとは別に「きたよし地区」から公募委員を募集していますが、今のところ応募はありません。ワークショップの人数は、概ね40名前後と考えています。 次に6頁になります。「きたよし」「なかよし」「みなよし」の施設の構成は、基本構想によるものから記載しました。あくまでも地域活動の拠点で、市民課窓口や図書館、健康福祉の窓口といった、分庁舎という考えは当初からありませんので、ご承知おきください。総合計画の中で考えている地域活動の拠点施設で、地域に支所機能を配置するものではないということです。 そして、ここからが協議をしていただきたいところですが、7頁をご覧ください。左半分が基本構想の内容で、右半分が庁舎内での調整で、5月以降行ってきた結果、問題提起も含めて記載した部分です。特に下から2、3段目の網掛けの部分、ここが新規に加えた部分です。ポイントとしては、「音楽」が課題として提起されています。区長さんや地域の方の話を聞くようにしていますが、個人の意見というのではなく、地域の意見としてあると思います。これが基本構想にはありませんでした。ただ、音楽室やコンサート室などと具体的に書くのではなく、「防音機能がある部屋」と、まずは表現しました。その下に「授乳スペース」というのが出てきますが、これについても、どういう形で表現するのか、トイレと同じ書き方でいいのか、部屋とするのか。この辺りについても少し意見が聞きたいと思っています。また、「調理室」についてですが、「災害時には絶対にいる施設」ということも聞きますが、その利用頻度を考えると、例えばアイランド型の大きな調理台1台が設置してあり、あとは多目的で使える部屋で良いのではないかとといった意見もあります。これは先進事例などが有れば調理室の中に反映していきたいと考えます。もう一点ですが、例えば、会議室の表記の中の地域の高齢者の趣味など云々というところで、表の右側に出てきます。和室の表記の中の地域の高齢者の趣味など云々、こういった高齢者
--	--	---

		の視点からの提案が、基本構想の中では少し薄かったと思われます。市の高齢者福祉計画の中でも施設整備について踏み込んでいますので、こちらの方も含めて対応したいと思います。この施設をどのようなものにしたいのか、この施設でどう過ごしたいのか、どのように利用したいのかを表現したのが、この頁になると思います。この議論をしていただいて、議論した内容を確認するまでをお願いしたい。その内容にワークショップの結果を加えて、次の協議会で考えをまとめていただきたいと思いますので、よろしくお願いします。
	加藤委員長	ありがとうございます。「きたよし」についての話がありましたが、5頁に戻っていただき、私たちがどこの時点にいるかということ、中段網掛けの地区拠点施設整備協議会という欄が上から3つ目にありますので、③のところになります。それより前に庁内で①、②と2回ほど調整会議を開催したことがわかると思います。この丸番号を順に追っていただくと、次の④がワークショップになっています。③と④を合わせて⑤の庁内会議を開催すると思います。それから、⑥で第2回ワークショップを開催し、⑦になり、ということをやッチボールのように繰り返しながら、次に私たちが基本計画を見ることが出来るのは⑧第2回、10月上旬となります。ワークショップで加わった意見を確認することができる。最終的には2月くらいに⑨、⑩で決定を目指そうという考えがこの表と思われます。丸番号を矢印で結んでいただくと、どういう流れになっているかが、よく解るかと思います。今日は7頁が主体の話になるかと思いますが、その前に、建物について、それから配置について、前の議題の時点でも異議がある、不安があるということだったので、その説明を事務局にしてもらってよろしいですか。さきほど配置について日当たりのことやアクセスのこと、民地との距離の取り方のお話をいただきましたが、あと、平屋か2階かの話、トイレの数が1箇所/階なのになぜ2か所なのか、との意見もありましたので、先程の質問にあわせてお答えください。
	事務局	順番に説明しますと、先に質問があった「平屋かどうか」ということですが、これは説明させていただいたとおりで、これからの計画で、ボリュームにより、また、専門家の意見を取り入れて、この面積だと無理との判断となれば、上に積むこともあります。
	小野田委員	ちなみに何年か前に施設整備の要望書が出てきており、その時の要望が6,000㎡の施設だったと記憶しています。6,000㎡というと、旧庁舎西館よりも大きなものを当時は要望していました。そのため、ワークショップでは大きな面積になる可能性があります。
	事務局	今、おおよそですが、計画・設計で公表している面積は1,500㎡です。あくまで目安です。だから、様々な意見を取り入れていくと膨らむ部分はあるかもしれませんが、6,000㎡は想定しておりません。
	小野田委員	豊田市が中学校単位で設けているコミュニティセンターの面積

		はどれくらいですか。
	事務局	わかりませんので、また、豊田市の資料を参考にそろえておきます。
	田仲委員	コミセンと交流館とがあります。コミュニティセンターは各地区にあります、それよりも小さな単位で交流館があります。みよし市の公民館よりは少し大きい、コミュニティセンターよりは地域が限定されている会館がありますが、イメージとすれば交流館のイメージと思っていました。
	事務局	そのイメージで良いと思います。コミュニティセンターだと人口が5万人規模のものの整備かと思います。
	加藤委員長	他市町の整備の話なので、参考にさせていただくということでお願いします。あくまでみよし市の話ですので、今ここで話しても結論がでませんので、確認をしてもらうようお願いします。 あと平屋か2階建てかの話でいうと、先程の説明ですと機能が増えていき、一応1,500㎡位を目安にしているけれども、2階建てになることもあり得るということですね。
	加藤委員長	先程田仲委員から、現施設の駐車場でもちょっと厳しい状態もあり、これから施設が大きくなって利用者が増えたら駐車場の確保がそれで間に合うのか、ということでしたが、それについて説明をお願いします。
	事務局	台数までは表示してありませんが、西側の土地ですが、後で買い増した部分があります。この部分は三好丘交流センターで使っていません。貸しています。その土地もありますし、周辺で未利用地もありますので駐車場のスペースとしては確保できるものと考えます。
	加藤委員長	台数を確保するため検討するということです。先程、谷端委員から防災の関係というか、宅地造成の急傾斜法、僕はあるのかどうか判りませんが、そういう断層が通っているということと法面から少し離れた方が良いのではないかとご指摘がありましたが、それについてはいかがでしょうか。
	事務局	確実な情報ではありませんが、県の防災マップ、危険地区の指定がありますが、現在建っているところの指定は建設に関しては問題がない場所です。市の防災マップにも、三好丘交流センターが載っていますが、そこについても建築は問題ないとなっています。また、猿投断層のお話がありましたが、これも確実ではないが、猿投断層は影響ないとも聞いています。再度、確認はします。
	加藤委員長	谷端委員、よろしいでしょうか。
	谷端委員	みよしの防災対策マップに三好丘交流センターの斜面のところ

		は危険地域になっていますが、これについてはどうですか。
	事務局	地域としては危険地域になりますが、擁壁が設置してありますので県からは危険個所ではないという判断ということです。
	加藤委員長	それでは、ひとつ前の議題（１）と（２）のところででた駐車場の確保については、まだ台数を算出していませんが、対応していくということです。先の２階建ての話とあわせて、もう少し検討が必要ということとなります。松浦建築事務所でも検討していただき、進んだ状態で確認とすることによってよろしいですね。ワークショップの中でも駐車場やアクセスの話がきっとでると思います。それでは、７頁の特に事務局から説明のありました網掛け部分、「防音機能の部屋」についてですが、私に関わりのある市町でも割と人気がある部屋が、若い人でもバンドの練習ができる部屋や音が出せる部屋があったら使いたいというニーズが実際あります。そういう防音機能の部屋が必要なのかどうか。授乳スペースが授乳室として、きちんとした部屋として必要なのか、皆さんが使う場所の一角にカーテンで仕切られたところにベンチがあるような形で良いのかというご質問がありました。また、調理室のあり方について、先ほど谷端委員から明るくて、使い易くてという話が出ていましたが他に利用頻度の問題、つまり、学校の家庭科教室のように配置してしまうと、その部屋はそうのようにしか使えなくなります。私の知っている他市町では、年２回しか使われていないから、調理台を全部外してしまった事例もありました。そういった様々な考えがありますので、調理室のあり方、主に調理室、防音機能、授乳スペースと高齢者への対応などについて、もう少し話し合ってほしいということです。先ほどのペアで３分ほど意見交換していただき、その後、全員でお話ししたいと思います。 ***** ３分経過 *****
	加藤委員長	それでは共有をしたいと思います。副委員長と寺村委員でお話をされましたが、ご意見をお願いします。
	寺村委員	調理室ですが、今、全国的に言われてきている子ども食堂を行うのであれば、きちんとしたものが有る方が良い。授乳室は、余裕があれば部屋を造った方が良く、余裕がなければキッズスペースなどにコーナーをつくれば良いと思う。
	加藤委員長	では、岡本委員と長山委員、どういうお話がありましたか。
	長山委員	調理室について女性として気になる場所ですが、どういう目的があるかで違うと思います。ここを防災拠点にするのならば、それなりの準備が必要ですし、だからといって常時は要りません。そういう目的を考えて造れば良いと思います。授乳スペースは、赤ちゃんを連れている人も来易い場所というのが必要だと思います。重要な場所ですが、そのために１部屋となると場所的に余裕が無くなるのではないのかということもあり、それこそキッズスペースの一部に

		スペースとして確保できれば良いのではないかと思います。
	加藤委員長	ありがとうございます。では、谷端委員と富樫委員、どんな話をされましたか。
	富樫委員	私たちは、防音機能について主に話しました。どれくらいの頻度で使われるのかということを調べるか、また、使いたい人がワークショップか何かでニーズを調べてのことでありますが、有るに越したことはないと思います。隣が会議室で、例えばコーラスの方がピアノ弾いて歌っていると会議の邪魔になりますので防音は必要と考えますので、有るに越したことはないと思います。
	加藤委員長	谷端委員から補足がありましたらお願いします。
	谷端委員	できれば、音訳室があると良いと考えます。音訳は、目の不自由な方に録音する方法ですが、豊田市にも音訳ボランティアがあり、みよし市でも活発に活動されています。どこか1箇所でもこうした施設が兼用でも良いので、有れば良いのかなと思います。
	加藤委員長	防音の部屋と音訳録音ができるところが兼用できないかということですね。それでは、田仲委員と木戸委員、お二人でお話しされたことをお願いします。
	田仲委員	主に授乳スペースの話をしましたが、私が思うにキッズスペースをどういう規模とするかによって、子育て世代がどれ程集まってくるのか、どういう利用の仕方をするかによってスペースを考えたらいいと思います。子どもたちをカリヨンハウスみたいに別で遊ぶスペースを作るのであれば絶対に授乳スペースは必要だと思います。または、交流サロンとの兼用でキッズスペースがあるのであれば、その一角に仕切りがあればいいのかなと思います。防音室ですが、三好丘交流センターでサックスの練習を会議室でしている人がいて、私たちもエアロビクスで音を出します。音が外に漏れないようには気にしますが、あそこの場所は周りの住宅から離れているので、大きな音で練習されています。だから、防音室の使い方もそうですが、近所迷惑ということでは、今のところ大丈夫かと思います。
	加藤委員長	ありがとうございます。木戸委員、なにか。よろしいですか。では、鈴木委員、どんな話をされたのかを。
	鈴木委員	調理室や防音室ということで、どれくらいの稼働率があり、ニーズがあるのかをしっかりと検討したほうが良い。稼働率が低ければ勿体ないということです。
	加藤委員長	授乳についても防音についても同じようなご意見が多かったと思うのですが、割とどういう使い方をするのか、利用ニーズがどれくらいの頻度で起きるのかによって、部屋のグレードや設けるものが変わってくるだろうという指摘があり、あるに越したことはないのだけれども、ニーズが無ければ構える必要はない。ニーズが有る

		のであれば、きちんとしたものをつくろうということが見えてきたかなと思います。このあとのワークショップなどで当事者や利用者からの声を聴く機会もあると思いますし、基本設計を進める中で、それぞれの目的などが、もう少し明確になってくると思いますのでそれが無いまま「授乳室をどうする」とか、「防音の部屋をどうする」とかは見えてこないと思います。
	事務局	今の内容を地区のワークショップの説明に取り入れていきたいと思います。また、きたよし地区拠点施設の右側に書いてある部分で特に気になる部分が有れば、ご指摘いただければ助かります。とくに「軽運動の捉え方」を内部で検討し、次は床材などになってきます。そういうところでご意見をいただきたいと思っています。
	加藤委員長	7 頁の一番右側に調理室の欄の 1 番「利用頻度が見込めるか」がワークショップに向けた検討課題に挙がっていますが、こういうところを少しづつ詰めていかないと部屋が何室というだけでは建物になっていかないことが良く解るのかなと思います。それから、僕自身は色々な市町で公共施設の建てるところに関わることが多いのですが、最近の傾向を少しお話すると、先ほど、面積の話がありましたが、どんどん要望が有ったらどうするのか。僕自身、そういったワークショップの応援をすることが多いので、最近のトレンドはどうなのかというと 1 室 1 機能ではなくなってきています。つまり、A というスペースは例えば会議にも使えますし、ちょっとしたパーティーにも使えます。音を出したら聞こえてしまいます。B というのは防音仕様になっています、音を出してもいいし会議もできます、ということです。つまり、多機能をいろんなスペースに設置することが増えてきています。そうすると重要になるのは、どういう目的でどの様な振る舞いをしたい部屋が多いのかを調べるのが大事になってきます。ワークショップでそういった声を拾って、多機能で複合化させ、なるべく面積を減らしていく、というのが今のトレンドなのです。少しだけ事例を紹介すると、「みんなのリビング」みたいな集会室・サロンがあり、奥にアイランドキッチンがあって調理ができる。壁際も全部調理台が並んでいる。そのため災害の時でも調理はしっかりできるし、食べることもできる。だから調理付の集会もできるし、パーティーもできる。料理教室もここで行われています。そのため「みんなのリビング」とか「みんなの台所」の名称を付けて、旧来の調理室やサロンではない、部屋の造り方が主流になってきていることを覚えておいて上手に使っていくといいのかなと思います。また、田仲委員の言われた、近隣・建物の外に対しての音は良いのだけれど、建物の中で音のトラブルになることが結構あります。要するに会議中に太鼓の音がして会議が出来なかったとか、そういうために防音したり、部屋の開け閉めが自由にできる、といった作り方もあります。
議題(5)及び(6)	加藤委員長	最後に議題(5)市民ワークショップについて、それと合わせて議題(6)の建設期間中の地域活動場所について、事務局から説明をお願いします。

	事務局	8 頁となります。ワークショップの開催予定ですが、8 月 7 日と 9 月 4 日の 2 回、三好丘交流センターで行います。メンバーは、募集中で 40 名程になると思います。内容については右側に流れが書いてあり、第 1 回目が「施設に必要な役割のアイデアを出し合おう」第 2 回目で「施設の役割と機能を考えよう」です。それを 10 月上旬までにまとめ、この協議会に諮って基本設計に反映させていく流れです。続いて 9 頁で、これが現在の三好丘交流センターの利用状況です。現施設の建て替えではないですが、今ある施設がこのくらい使われているということです。右下を見てもらうと分かると思いますが対象のところに営利、減免、非営利とあり、このうちの営利の登録が 35%、コマ数でいうと全体のコマ数の 82% を営利のカルチャセンター的なものが利用しているのが現状です。これから先、平成 30 年 4 月以降、工事に入ると 1 年半以上閉鎖することになります。これは現在の利用者にとって大きな問題ですが、将来の地域の活動拠点と定義、パフォーマンスを考えると今ある施設の余剰の部分で商的活動を使うことで成り立っていますが、あくまでも次の施設は、地域活動の拠点としてスタートしたいと考えますので、ここでは機能補填の可能性施設と書いていますが、カリヨンハウス、行政区の集会所、小中学校の施設、民間施設などに関して早めにアナウンスして商的利用者については自分たちでまずは代替え施設をあたってもらうようにしていきたいと考えます。特に地区の総会、大人数で使うものについては、小中学校にお願いする必要があると思っていますし、内部会議でもそのことを議題とし、皆の共通認識として思っています。
	加藤委員長	協力してくださるということですね。
	事務局	はい。区長さんから地域のことであれば応援する旨を頂いていることを申し添えておきます。
	加藤委員長	ありがとうございます。8 頁と 9 頁について、8 頁はワークショップを 2 回開催すること、ここで活動の内容やどんな使い方をしたいのかを聞く場所であること、一方で 9 頁が建設期間中どんな状況になるのかということ、現在、営利の団体が使っているコマが 8 割あり、今使っている団体は機能補填の可能性施設を利用してもらい、その期間を凌いでいこうというのが事務局の考えであり、これで良いかを確認したいということです。できれば事務局としてはこれの方向で進めたいということです。これについて今度は全体で協議をしたいですが、何かご意見がありますか。
	田仲委員	現在、三好丘交流センターで営利の活動をしています。利用状況もかなり多く、利用し始めて 8 年間くらいたち、週 4 コマ火・水・木・金と、多分一番多い利用かと思います。一部カリヨンハウスも利用し、ほかの地区でも利用しているので、使えないときはそういったところを利用しようかと。例えば、カリヨンハウスでも営利の使い方はできるのですが、コマ数が月 5 コマしか取れないと決まっていたりして、代替えとして、カリヨンを利用するとしても、そこでコマ数が決められていると必要なコマ数の予約が取れませ

		ん。もし、建設期間中、他の施設の利用をといわれるところで、もちろん自分たちで場所は探しますが、その間だけでもコマ数を増やすとか特例的なものは考えていただけませんか。
	加藤委員長	そういった施設をその期間、ある限られた一定の期間、使う時に限っては使用条件を緩めてもらうことが可能かという質問ですが、これは直ぐに答えられますか。
	事務局	それが出来るかどうかについて、直ぐには答えられませんが、そういった意見があったことをお伺いしたということでお願いします。
	加藤委員長	それでは、他に何かご意見はありませんか。
	木戸委員	いま田仲委員から話がありましたが、打越公民館は営利団体の使用を止めようと規定の見直しをしており、そうすると打越公民館は使えなくなりますので、ご理解いただきたい。
	加藤委員長	そうすると営利はダメというところが出てきているということですね。
	鈴木委員	福谷区も新しく集会所をつくりましたが、規定の見直しをしました。福谷区も、今言われたように前回の区議会で営利団体の利用は止めるという話になりました。
	事務局	田仲委員の言われたとおり営利だとかの差別ではなく、そこに通っているのは三好丘の子たちがいっぱい居ることを皆さん承知の上で話をさせていただいております。ただ、あの場所での建て替えで建物を横に造り、現施設を取り壊すことは現実的に困難ですし、膨大なコストが掛かってしまいます。市としてもできる限りの協力をし、誠意を見せていきたいと思えます。
	加藤委員長	今、事務局から協力もして下さるとの話もありましたので、その中で相談をしながら対応していただきたいと思えます。
	富樫委員	ワークショップのことですが、公募によるメンバーと推薦によるメンバーとで集めると思いますが、年代層の割合とか、例えば高齢者世代だけが集まると意見が偏るので、年代層のバランスをとってワークショップをしないと意見が偏るのではないかと心配します。
	事務局	きたよし地区の区長さんに幅広い年代層の推薦の依頼をしています。そのため下は小中高生も視野に入れていただいております。ただ、公募については5名程度としております。各区長さんから推薦をしていただく方については幅広い年齢層からを依頼しています。
	加藤委員長	他に何かありましたら。よろしいでしょうか。 それでは、次第に戻っていただいて、議題(1)は共通事項だった

	事務局	ので議題(2)の3地区の拠点施設の基本計画については基本的に承認。付記された意見についてはあわせて承認する。それから議題(3)、議題(4)きたよし地区拠点施設に必要とする機能についてということで非常に良い意見が出たと思いますが、防音にせよ、授乳スペースにせよ、調理のスペースにせよ、どういう使い方をするのか、どういう目的で設けるのか、稼働率は、とかしっかり押さえて計画に反映していくということ。また、私からは1室1機能ではなくて多機能に使えて面積の無駄のない計画にするということを申し添えました。機能については、今後ワークショップもありますので、そこで話合っていただくことになると思います。最後の議題(5)、議題(6)については、市民ワークショップについては、幅広い属性のメンバーを募って対応していることと期間中の使えないことに関してはすこし行政側も協力してアナウンスもするし、その期間は融通を利かせることを検討していくというお話であったかなと思うのですが、よろしいですか。 全体を通しても言いたいこと、言い忘れたことがあればお伺いします。 今日は皆さんの活発なご意見いただいて、非常にいい検討が出来たと思っています。では、事務局に進行をお返ししたいと思います。 委員長、ありがとうございました。長時間にわたり様々なご意見、ありがとうございました。本日の議事はこれで終了といたします。次回は10月の上旬を予定しています。また、事前にご連絡いたしますのでお願いします。 *****一同礼***** *****閉会*****
--	-----	--